

長野市公文書館便り



●発行日：平成26年(2014年)10月1日 ●発行：長野市公文書館

平成26年度 長野市公文書館講演会

真田家文書の特徴について

～埴科郡東条村相沢家文書を手掛かりとして～

長野市公文書館では10月17日(金)に「長野市公文書館講演会」を開催します。開館当初から例年秋に開催している講演会も今回で8回目を数えました。これまで善光寺地震や小林一茶など長野地域に関する歴史的な出来事や人物などにスポットをあててきました。

今回は長野市立博物館の原田和彦氏を講師に招き、松代藩真田家の藩政文書等である「松代真田家文書」についてお話いただきます。真田家に関する文書としては、松代町の真田宝物館が所蔵する藩主の真田家に関する一群の文書類、東京都立川市の国文学研究資料館が所蔵する「家老日記」、



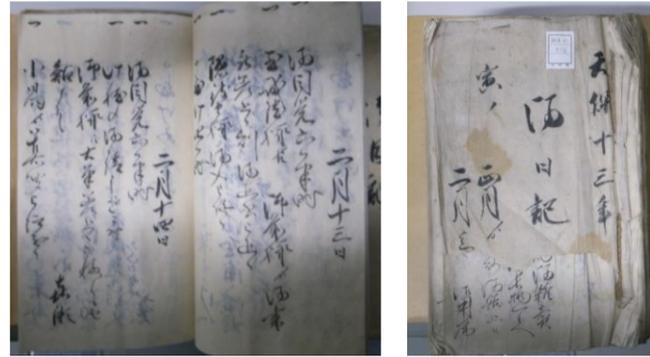
松代真田家文書(国文学研究資料館所蔵)

「郡方日記」、「勘定所元メ日記」などの膨大な藩政に関わる文書群が知られていますが、このほかにも個人所蔵の地方(じかた)文書などがあります。今回の講演は、あまり知られていない地方文書の一つである「埴科郡東条村相沢家文書」にスポットをあて、真田家文書の特徴の一端を明らかにしようというものです。

なお長野市公文書館では長野市誌編さん時代から国文学研究資料館所蔵の「信濃国松代真田家文書」のマイクロフィルム撮影を続けており、それらはプリントされ複製資料として閲覧することができます。(前号参照)



昨年開催された講演会の会場風景(講師は鬼頭康之氏)



9月に行った撮影では3日間で約7,000カットをマイクロフィルムに納めました。

パネル展「未来につなげる文書遺産」

講演会にあわせて10月10日(金)から19日(日)まで(土・祝日休館)、城山分室内共用会議室においてパネル展も開催します。市民の大切な財産である史・資料について、収集から公開までの作業や整理・管理していくための様々な取組について紹介します。あわせて、今回の講演会のテーマに関わって、松代真田家文書の一端を展示します。



昨年のパネル展の様子

ご案内

- 日時 10月17日(金) 午後1時30分～午後3時30分
- 会場 長野市城山分室大会議室
- 演題 「真田家文書の特徴について～埴科郡東条村相沢家文書を手がかりとして～」
- 講師 原田和彦氏(長野市立博物館係長)
- 申込等 聴講無料・定員100人程度(事前申込は不要です)

※お車でお越しの方は、城山公園内無料駐車場をご利用ください(市営テニスコート横)

問合せ先 長野市公文書館 TEL026(232)8050

長野市民新聞に連載中

「写真は語る－長野市公文書館資料」

長野市民新聞(発行：長野市民新聞社)の隔週土曜日版で「写真は語る－長野市公文書館資料」と題し、写真資料と解説を掲載中です。公文書館の専門主事が担当して明治から大正・昭和の古い写真資料をもとに、在りし日の長野の町並みや風物、歴史的出来事などを紹介しています。

野球やスケート盛ん

平成26年9月20日(土)付



〔視察・見学〕
9月11日 長野市が毎年行っている「みどりの見学」のコースに選ばれ、市民24人が当館を訪問しました。公文書館の事業の概要を説明した後、館内を回り閲覧室や作業室、書庫等を見学していただきました。



施設概要等の説明後、専門主事が案内役となって館内を見学

9月16日 上田市の上野が丘公民館より依頼があり、古文書講座の館外研修の一環として17の方が当館を見学しました。施設説明・書庫見学の後は古文書を閲覧し、参加された方々は熱心に史料を読んでいました。

〔資料調査・移管作業〕
7月8日 6月に事前調査を行った「旧信州新町役場文書」を信州新町支所より当館に移管しました。

7月16日 職員2人が鬼無里支所に出向き、「旧鬼無里村役場文書」の調査(評価選別作業)を行いました。

7月22日 市立昭和小学校より依頼があり、職員2人が同校に保存されている資料を調査し移管しました。

9月5日 大岡支所に保管されている「旧大岡村役場文書」を調査し、30日に当館へ移管しました。

※旧信州新町をはじめ合併町村の公文書は複数年にわたり継続的に調査・移管を行っており、例えば「旧信州新町役場文書」は今回で第4次になります。

『市誌研究ながの』 好評発売中

『市誌研究ながの』(年1回発行)は、長野市域の歴史・民俗・自然等に関する論文や研究ノート等をまとめた研究紀要で、研究者に限らず市民の方々からの寄稿等も掲載しています。部数の僅かな号(17号は売切れ)もありますがバックナンバーを取り揃えています。当館受付でお求めいただけますが、郵送も可能です。詳しくはお問合せください。

第21号：A4版160頁 頒布価格：1,400円(税込)

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)

電話 026-232-8050 FAX 026-232-8051

H P http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/

又は **長野市公文書館** で検索

開館時間 午前9時～午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)

休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始(12月29日～1月3日)

資料保存作業(2)「埃払い・修復」

今回は資料の埃払いや修復について紹介します。当館に移管あるいは寄贈・寄託される資料は、現状のまま搬入されるものがほとんどです。埃を被ったままのものや虫に食われたもの、湿気を帯びたもの、折れ曲がったり破れていたりするものなどもあり、そのままでは整理・保存ができない資料も多いのです。そのため移管された資料は整理を始める前にまず「殺虫」「乾燥」「埃払い」等の作業を行います。左の写真は「埃払い」の様子です。この作業の前に市販の殺虫剤を入れたビニール袋に資料を一定期間密封しておきます。その後、写真のように1点1点丁寧にブラシなどを使い、資料に付着した埃やゴミ、細かい砂などを取り除きます。ネズミの糞や虫の死骸、人髪などが混じっていることも。マスクは必需品です。

次の写真資料(①～③)は、「埃払い」後に部分的な修復を施しました。この資料は昭和30年代の比較的新しい資料ですが、水害にあったため状態が悪く、修復が必要でした(①)。水に浸かっている紙同士が貼り付いていたり、細かい砂や泥が固まって付着していたからです。貼り付いた紙を薄いヘラや千本通しなどを使って丁寧に剥がしたり(②)、乾燥し固まった砂や泥によって文字が判読できない箇所を、カッターなどを使って削り取りました(③)。その際、紙を破損したり書かれた文字まで削がないように職員は慎重に作業を行います。完全に復元することは難しいのですが、状態の悪いこうした資料もクリーニングすることで、利用者の皆様に気持ちよく手にとっていただけますし、今後の長期保存が可能になります。

新たに公開した資料です

- ・土屋宗男氏 寄贈・・・・・・・・(写真 1点)
- ・七二会小学校文書・・・・・・・・(古文書 11点)

篠ノ井町・塩崎村が合併に調印し、市制施行を議決した時の写真(土屋宗男氏 寄贈) 資料番号(古-122-1)

こんなときにはご相談ください。

- ・古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ・所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。